

宮城県 公文書館だより

第13号

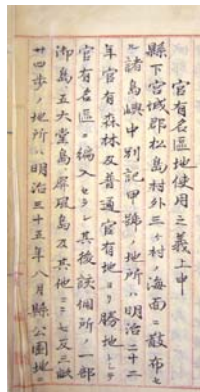
平成20年6月



〈内容〉

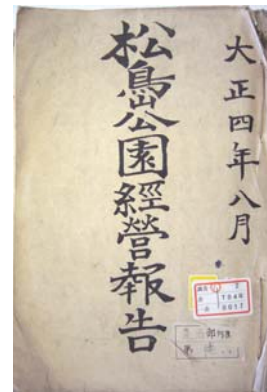
- ・ 収蔵資料の紹介「松島公園の整備」
- ・ 宮城県公文書館常設展「絵図でみる宮城の村・町」
- ・ 公文書館の仕事，宮城県の一口知識「釈迦堂」
- ・ 収蔵状況ほか

収蔵資料の紹介



〔M四二—〇〇一五〕

官有各区地使用之義上申



〔T〇四—〇〇一七〕

—松島公園の整備—

今年（平成20年）10月，大型観光事業「仙台・宮城デスティネーション・キャンペーン（DC）」が実施されます。そして，今から100年ほど前，宮城県の観光事業の先駆けとなったのが松島公園整備事業です。

明治35年（1902年），県は，観瀾亭や瑞巖寺がある区域（国有地）を県立公園に組み入れる許可を得ました。さらに，同42年（1909年）には，松島湾全体を県立公園用地として使用することを内務省に上申し（「官有各区地使用之義上申」），許可されました。この上申では，「山林ノ盗伐水族ノ濫獲到處ニ行ハレ其風致ヲ損傷セシコト尠ナラス，随テ遊賞ノ客ヲ失望セシムルモノアルニヨリ・・・」と，松島の荒廃した様子を述べ，県立公園として県が管理し，景観を保存したいと訴えています。同43年（1910年），有識者による松島公園経営協議委員会が組織され，具体的な公園整備及び経営に関する調査・答申が行われました。これを受け，松島公園整備が本格化すると，用地買収，宿泊施設（パークホテル）の建設，五大堂ほか文化財の修復，電気・水道・道路の整備など，着々と整備は進み，大正4年（1915年）には松島公園落成記念大会が盛大に催されました。そして，この年，県が作成したものが「松島公園経営報告」です。これは，松島公園の開発・整備の経過及び現状，観光客の動向，今後の課題などを記した200ページを超える詳細な報告書です。例えば，明治44年（1911年）以降の年間平均宿泊者数が1万2千人余り（特に外国人が急増）であること，より観光客（特に宿泊者）を誘致するには夜でも楽しめる娯楽施設が必要であることなどを報告しています。

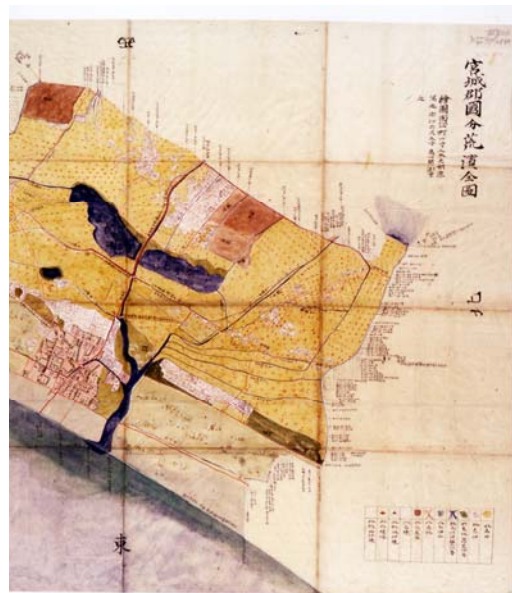
この後，昭和10年代にかけて，鉄道（松島電車）の開通，水族館の設置，ニューパークホテルの建設など，さらに整備が進むと同時に，宮城県観光協会などのPR活動により，観光客が増加していきました。

人々を魅了して止まない「日本三景・松島」。今日も，国内外からの多くの観光客で賑わっています。

絵図でみる宮城の村・町

明治（一部、江戸期を含む）から昭和にかけて、県内では、隣村との境界の確定や土地所有の明確化などを目的に多数の絵図が作製されました。現在の地図と異なり、色合いや方位、全体的な描き方などが多彩で、一枚一枚が個性的です。また、松島や鳴子など観光地の当時の状況や今は失くなってしまった自然や道路なども見ることができます。今回の展示では、当館所蔵の絵図約1,500点の中から22点を厳選し、当時の村・町の様子をふり返ります。

※開催期間；5月3日（土）～6月29日（日）



宮城郡国分荒浜全図

— 主な展示資料 —

【絵図】

	絵 図 名		絵 図 名
1	宮城郡仙台町地引図	12	陸前国第二大区宮城郡小十三区松嶋邑(むら)図
2	宮城郡国分荒浜全図	13	黒川郡大衡村添田山用水御林御絵図
3	陸前国宮城郡荒浜地籍絵図	14	宮城県管轄陸前国加美郡四竈村絵図
4	第二大区宮城郡国分小十区根白石村麓(あら)絵図	15	玉造郡温泉村図
5	宮城郡根白石村地図	16	第九大区遠田郡小一区縮図
6	宮城県全図	17	栗原郡一迫梅崎村絵図
7	刈田・伊具・亘理・宇多四郡図	18	登米郡新田村絵図
8	志田郡六十四ヶ村図	19	牡鹿郡指ヶ浜外六浜絵図
9	本吉郡南方十三ヶ村図	20	宮城県官林図
10	柴田郡川崎村平面図	21	栗原郡長岡村内軍隊設営略図
11	名取郡岩沼町地図	22	桃生郡長面浜・本吉郡月浜絵図

【関連資料】

- ・官林絵図本帳 ・本吉桃生郡界御定二付御受書 ・地籍編纂調査の件 ・地籍編纂調査指令状
- ・地引図色分 ・地誌編輯各町調ノ儀二付伺 ・登米郡外三郡地籍編纂之儀上申 ほか

公文書館の仕事

1. 収蔵資料検索システムの整備

当館では、内容調査（資料内容の確認、公開・非公開の判断など）の結果を「収蔵資料検索システム」に入力する作業を随時行っております。「収蔵資料検索システム」は、キーワードと年度の入力により資料を検索することができ、かつ資料内容（件名など）を確認することができます。

今後も、より手軽に資料検索ができるよう、システムの整備を進めていきたいと考えております。

(※「収蔵資料検索システム」は、当ホームページにリンクしておりません。資料に関するご質問については、当ホームページのトップページ「資料検索サービス」をご利用ください。)

2. 宮城県公文書館所蔵資料展の開催

4月2日（火）から5月16日（金）にかけ、県庁18階県政広報展示室におきまして、宮城県公文書館所蔵資料展「～公文書の説明資料の～地図・イラストあれこれ」を開催しました。今回は、公文書に添付された地図や設計図、イラストなど16点を展示し、当時の県政の動きやできごとを紹介しました。今後も、多くの方々に足を運んでいただけるような展示を心がけていきたいと考えております。

3. 公文書館見学

5月10日（土）、「宮城県文化財友の会」の皆さん約100名が当館を訪れ、当館の敷地内にある石碑と、常設展「絵図でみる宮城の村・町」を見学しました。これほど多くの方々の来場は初めてのことで、また皆さんからいろいろな質問も出され、当館にとってたいへん有意義な見学会となりました。

今後も、普及活動の一環として見学者の受入れを行いますので、お気軽に当館までご連絡ください。

宮城県の一口知識

釈迦堂

かつて、榴岡公園の北、現在の宮城県公文書館の敷地内に、「躑躅岡^{つづしがおか} 釈迦堂」がありました。

建立したのは四代藩主伊達綱村で、元禄8年（1695年）のことです。この年は、生母である三沢初子の死後10年目に当たり、仏道に深く帰依していた初子が小さな釈迦像を身につけていたことなどから建立したと言われております。堂の正面（敷地の北西縁）に山門を建立し、南（現榴岡公園）には馬場と弓場を設け、枝垂桜などが植えられました（「桜の馬場」と呼ばれた）。また、山門下の通りでは茶店が軒を並べ、釈迦堂境内では芝居や相撲などの興行が許されました。こうして釈迦堂は、長い間人々の憩いの場となりましたが、昭和43年（1968年）、宮城県図書館がこの地に建設される際、孝勝寺（三沢初子の菩提寺）へ移転されました。

現在、宮城県公文書館の敷地内に「躑躅岡釈迦堂碑」があります。これは釈迦堂建立の際、綱村自ら碑文を起草し、作製したものです。綱村は、いわゆる伊達騒動の際に自分を守ってくれた母・初子に対し、終生孝養を尽くしたと言われ、碑文では、「母の慈仁の志」「子の誠孝の意」といった親子のあるべき道を説いています。

満開の桜と花見客、多くの石碑が当時の姿を今に伝えています。



釈迦堂



躑躅岡釈迦堂碑

収蔵状況

収蔵数	公文書					絵図面	行政資料	合計
	明治期	大正期	昭和期	平成期	小計			
	3,676	1,690	23,759	4,080	33,205	1,564	5,500	40,269

[平成20年3月31日]

寄贈図書

関係機関から寄贈された図書（一部）をご紹介します。

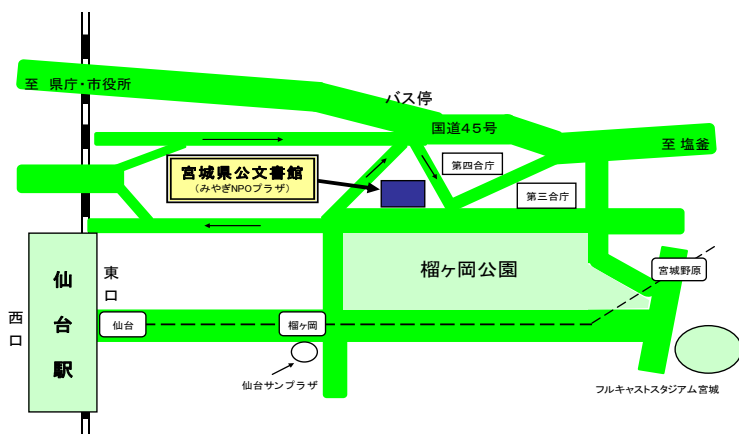
- 『仙台市史 通史編6 近代1』 仙台市
- 『東北大学史料館紀要 第3号』 東北大学史料館
- 『秋田県公文書館研究紀要 第14号』 秋田県公文書館
- 『福島県立歴史資料館研究紀要 第30号』 福島県立歴史資料館
- 『北の丸 第40号』 独立行政法人国立公文書館
- 『記録と資料 18』 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- 『双文 第25号』 群馬県立文書館
- 『神奈川県立公文書館だより 第19号』 神奈川県立公文書館
- 『新潟県立文書館年報 第16号』 新潟県立文書館
- 『総合資料館だより No.155』 京都府総合資料館
- 『岡山県立資料館紀要 第3号』 岡山県立記録資料館
- 『大分県公文書館だより 第15号』 大分県公文書館

お知らせ

- 3月、松島町にオープンした「品井沼干拓資料館」において、当館所蔵の品井沼干拓に関わる資料（複製）を展示しております。
- 次回の展示は7月を予定しています。後日、テーマ、開催日程等を当ホームページに掲載いたします。

利用案内

- 開館時間 午前9時から午後5時まで
- 休館日 月曜日、国民の祝日・休日（土曜日・日曜日に当たる日を除く）、年末年始
- 交通のご案内 JR仙石線榴ヶ岡駅下車（徒歩7分）
仙台市営バス・宮城交通「第四合同庁舎前」下車（徒歩3分）



公文書館だより

—第13号—

平成20年6月3日発行

編集発行

宮城県公文書館

〒983-0851

宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5

電話022-791-9333